

(様式第9号)

情報公開用文書

「婦人科良性子宮疾患に対するロボット支援下手術の一般社団法人 National Clinical Database への手術・治療情報登録」について

1. 症例登録の目的と概略

婦人科領域におけるロボット支援下手術は2018年4月に「腹腔鏡下腔式子宮全摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）」が保険適用となりました。本手術を施行する際には、本術式の現状を把握し、医療の質向上を図るため、周術期の安全性を中央管理できる登録システムへの入力が必要不可欠です。2020年7月1日以降に婦人科良性疾患でロボット支援下手術を受ける患者さんは術前に日本内視鏡外科学会 産婦人科領域/ロボット支援下手術 レジストリー登録データベースへの症例登録を行い、術後に治療情報を登録します。

2. 対象者・該当期間

2020年7月1日以降に徳島県立中央病院産婦人科で良性子宮疾患に対してロボット支援下手術を受ける患者さんです。

3. 症例登録の方法

National Clinical Database のホームページよりログインし、術前症例登録として、手術予定日、診断名、併存症有無、予定術式を入力します。術後登録として、術中出血量、主要な術中合併症、手術時間、術後診断、術後出血や他臓器合併症の有無などを入力します。

4. 個人情報の保護

患者さんの手術・治療に関する情報は、個人を識別することができる情報を除き、その方と関わりのない符号をつけて入力します。但し、その新たにつけられた符号がどなたのものであったかを記した対応表を当院に残します（連結可能匿名化）。これは、National Clinical Database が手術・治療後一定期間が経ったあとの情報を集めたり、入力された情報に誤りがないかを確認したりする際に、入力された情報と患者さん個人の情報を照合しなければならなくなる可能性があるためです。

5. 同意の取得と参加の拒否について

症例登録に際して、検査が追加されたり、治療が変更されたりするなど、診療自体に影響

響が出ることはありません。通常の診療で集められたデータを登録します。したがって、症例登録に際して患者さん個人から同意書を得ることはありませんが、患者さんが個別に登録事業への参加を拒否することは可能です。参加を拒否することを産婦人科の担当医に伝えていただくと、その方の情報はデータベースに提供されません。今後の診療を受ける上で不利益が生じることはありません。

6. 問い合わせ・連絡先

この手術・治療情報登録についてご質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

徳島県立中央病院産婦人科

担当医師 前川正彦

連絡先（電話番号） 088-631-7151（平日 9 時～17 時）